

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

教育総務課

会議名 第2回 ゆめスクールプラン推進委員会(東部地区第1期)

開催日時 令和元年7月17日(水) 午後7時 ~ 8時45分

開催場所 上諏訪中学校 3F 多目的ホール

出席者  
 委員長:関 基、副委員長:矢島作朗、松井聡  
 推進委員:小濱健一、長谷川哲也、飯嶋政泰、土井田和広、加藤浩、宮野孝樹、飯坂正樹  
 入江公子、飯嶋敏雄、平野智美、溝口綾、藤森一俊、矢島和明、山田一六、  
 小平祐市、山崎義夫  
 (欠席者)松田梨香、井上幸彦 (敬称略)  
 オブザーバー:矢島職務代理、古屋教育委員、岩波教育委員  
 事務局:小島教育長、後藤教育次長、柳平教育総務課長、長田教育総務係長、松木学  
 務係長、小口教育企画係長、名取主事、三村指導主事、五味指導主事、竹内  
 指導主事、岩波指導主事  
 (傍聴者) 3名

資料  
 ◇配布資料  
 No.1 部会員の報告について  
 No.2 学校統合の方式について  
 No.3 新小学校の位置及び開校時期について  
 No.4 小中一貫教育学校の理念及びグランドデザインの素案について  
 No.5 通学区の扱いについて  
 No.6 学校再編だよりの発行について  
 No.7 各部会の開催及び検討スケジュールについて

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

- 1 開会(課長)
- 2 教育長挨拶
- 3 経過報告
  - (1)部会員の選出結果報告について(資料No.1)
- 4 協議(進行:課長 ⇒ 正副委員長 関委員長、矢島副委員長、松井副委員長)
  - (1)学校統合の方式について ⇒ 新設統合。学校名、校歌・校章は新たに定める。 -承認-
  - (2)新小学校の位置及び開校時期について ⇒ 現高島小学校の校舎を利用、令和3年4月1日開校。-承認-
  - (3)小中一貫教育学校の理念及びグランドデザインの素案について ⇒ 事務局の素案を承認。
  - (4)通学区の扱いについて ⇒ 事務局案を検討中。
    - ・高島小から諏訪中に進学する学区の生徒のみ、希望に応じて上中への進学を認めていく。
    - ・令和2年の中学1年になる該当地区の生徒からを想定。
    - ・城南小から上中に進学する地域について、学校再編計画の地域説明会を開き、保護者の意見・要望を踏まえて通学区の見直しを検討。

## 5 報告

(1)学校再編だよりの発行について

(2)各部会の開催及び検討スケジュールについて

6 次回、推進委員会の開催について ⇒ 第3回推進委員会 令和元年9月11日(水) 午後7時からを予定。

【質疑意見一括】(Q:質問、A:回答、C:コメント)

Q1:統合の方式について、今回の統合は第一段階で、次に城南小、諏訪中と一緒にする時はどうなるのか？

A1:最終的には東部地区全体で施設一体型の小中一貫校を目指すのが「ゆめスクールプラン」の最終目標。  
現時点では、それまでの具体的な期間を話す状況ではない。

Q2:学年段階の区切りで5-4制という説明があったが、卒業式があったり、他の小学校から来る生徒もいる。  
他の学校との関係はどうなるのか？

A2:小学校は1年から6年、中学校は1年から3年という制度は変わらない。教育課程の指導内容について、成長段階に応じて教育内容を5年でまとめていく。どの学年も学習指導要領に準じて指導しているので、途中で転出入があっても内容は変わらない。

Q3:小中一貫校に行くのと、一貫校ではない学校に行くのと、何が違うのか？

A3:学習指導要領に沿ってやっているのだから、ミニマム(最小指導内容)として差が出ることはない。県内の小中一貫校の成果として、異年齢集団の人間関係の関わりで中学生の心の伸びが顕著という報告がある。

Q4:現状でも、一貫校にしなくてもメリットを生かすことができないか。一貫校を名乗ると何ができるのか？

A4:施設一体型の小中一貫校になると義務教育学校になり、文科省の扱いが違う。人事面で教職員の増員を求めたり、小中両方の免許を持った先生を集められたりする等の制度的なメリットがある。

Q5:一貫教育を推し進めていくとき、職員会やコミュニティスクールの運営委員会等の組織をどのように考えているか？

A5:小中合同の職員会を定期的にとることや、3校のコミュニティスクールの学校運営委員会を一つにするかも含めて、CS部会の中で話し合ってもらいたい。

Q6:5、6年の中学校部活動の参加について、中学生とは体格の差があり、ケガの心配があるのではないかと。

A6:部活動参加については、中学生と試合をするのではなく、競技スポーツではなく、楽しみながらスポーツに親しむ機会を増やすことを考えている。

Q7:高島小から諏訪中へ進学する通学区の保護者からは、中学校は上中に通わせてほしいという意見と諏訪中に通わせてほしいという意見がある。兄弟関係もあり、選択制を導入してほしい。

A7:上諏訪地区が最終的に一つの施設一体型の小中一貫校になるのが「ゆめスクールプラン」の最終目標。  
高島小から諏訪中へ進学する生徒については、現在の小学6年生から希望に応じて上中に通えるようにしていきたい。城南小から上中へ進学する地域については説明ができていない。次回の委員会までに説明会を行ってご意見を伺い、方向性を検討したい。

A8:城南小から上中へ進学する生徒が、諏訪中に行けるように同じような方向性が示されるのか？

Q8:別個に切り離して対応を行う。

Q9:ランドデザインの素案に、小さい小学校で行われているメリットが書かれていない。利点を「見える化」して誰にでもわかるように説明してほしい。

A9:城北小でできている素晴らしいことは、新しいところでもできる。高島小のいいところも生かすことができるので、わかりやすく説明していく。

Q10:推進委員会の部員の中には、温度差があるので、今までの流れや資料を準備して配布してほしい。一般の方に資料を見せてよいか。

A10:今回の資料で非公開のものはない。